

## 参考資料 2 : 心のバリアフリーの推進

香芝市では、バリアフリー基本構想の基本理念である「誰もが安全・安心、快適に移動できるひとにやさしい都市（まち）づくり」の実現を目指し、心のバリアフリーの推進を行っています。物理的なバリアフリーが十分でなかったり、障がいなどの状況によっては移動等が困難な場合があります。そうした場合でも周囲からのサポートを受けることで移動等が円滑になる場合があります。

周囲に困っている人がいたら自らサポートの手を差し伸べようとする思いやりの心を醸成し、行動につなげることが心のバリアフリーの推進です。香芝市は、心のバリアフリーの推進を通して、バリアフリー化についての理解を深め、周囲の人に対する思いやりの心で行動につなげることで、誰もが安全・安心な日常生活を営むことができる環境づくりを目指します。

香芝市においては、平成30年度と令和元年度に、心のバリアフリーの推進として、市内の小学校でバリアフリー教室を開催いたしました。バリアフリー教室では、車いす利用体験・介助体験、視覚障がい疑似体験・介助体験を小学生に体験してもらいました。体験学習を通じて障がい理解、バリアフリー化の必要性を考える機会となり、実際に介助を行う際の注意点などを学ぶことができました。また、講師としてお迎えした障がい者当事者の方に、体験談を語ってもらったり、介助をする際の注意点を説明してもらうことで、小学生の理解がより深まりました。バリアフリー教室で学んだことを生かして、実際に困っている人を見かけたら「お手伝いしましょうか？」をキーワードに声をかけるなど、具体的な行動へと結びつくことが更なるバリアフリー化へとつながります。

車いす体験の様子



視覚障がい疑似体験の様子



## 平成30年度 バリアフリー教室の開催

### 1. 開催概要、学習内容

#### (1) 開催日時及び開催場所

	日 時	場 所
平成30年度 バリアフリー教室	平成30年11月1日(木) 9:35~11:30	香芝市立 関屋小学校

#### (2) 参加者

香芝市立関屋小学校 小学3年生 71名

#### (3) 学習内容

① 1組、2組に分かれて、以下の2コースを順番に体験

学習内容	
車いす体験	利用体験
	介助体験
視覚障がい	アイマスク、白杖を使用した疑似体験
疑似体験	介助体験

② 児童全員での講義形式の学習

講義	講師の体験談
	心のバリアフリーについて

#### (4) 共催

国土交通省 近畿運輸局  
香芝市

#### (5) 協力

社会福祉法人 香芝市社会福祉協議会  
香芝市身体障害者福祉協会

(香芝市身体障害者福祉協会会長、視覚障がい疑似体験講師、車いす体験講師)

## 令和元年度 バリアフリー教室の開催

### 1. 開催概要、学習内容

#### (1) 開催日時及び開催場所

	日 時	場 所
令和元年度 バリアフリー教室	令和元年 11 月 8 日 (金) 9:35~11:30	香芝市立 関屋小学校

#### (2) 参加者

香芝市立関屋小学校 小学3年生 70名

#### (3) 学習内容

##### ① 1組、2組に分かれて、以下の2コースを順番に体験

学習内容	
車いす体験	利用体験
	介助体験
視覚障がい 疑似体験	アイマスク、白杖を使用した疑似体験
	介助体験

##### ② 児童全員での講義形式の学習

講義	講師の体験談
	心のバリアフリーについて

#### (4) 共催

国土交通省 近畿運輸局  
香芝市

#### (5) 協力

社会福祉法人 香芝市社会福祉協議会  
香芝市身体障害者福祉協会  
(視覚障がい疑似体験講師2名、車いす体験講師2名)

## 2. バリアフリー教室アンケート結果の報告

令和元年度バリアフリー教室終了後、関屋小学校 小学3年生 70名を対象に、アンケートが行われました。

バリアフリー教室で車いす体験や視覚障がい疑似体験を体験学習することで、障がい理解につながり、相手の立場に立ち周囲を思いやる心が育まれました。困っている人を見かけたら、「お手伝いしましょうか？」と声をかけたいとの回答が多くありました。

### バリアフリー教室（香芝市立関屋小学校）アンケート集計結果

日時：令和元年11月8日（金）9時35分～11時30分

場所：香芝市関屋小学校 体育館等

対象者：小学3年生 70名（2クラス）

アンケート回答数：69

#### 問1 今日の授業でお話しした内容は分かりやすかったですか？

わかりやすかった	ふつう	むずかしかった	無回答
50名	14名	5名	0名

##### ■「むずかしかった」と答えた理由（むずかしかったところ）

- ・ 車いすの人やめのふじゆうな人はとてもたいへんだな、と思った。
- ・ 目がみえない体験が、こわかったから。

#### 問2 今日の授業を受けてみて感じたことはどんなことかな？（複数回答可）

障害のある人の気持ちになって考えたい。	44名
困っている人を見かけた時には「お手伝いしましょうか？」と声をかけたい。	54名
今日学んだお手伝いの方法やバスのバリアフリーの工夫等を家族やお友達に伝えたい。	52名

##### ■その他（自由記入）

- ・ もし自分が体が不自由だったら、たすけてくれたらうれしいと思う。
- ・ 障がいのある人は大変だなと思いました。

#### 問3 今日のバリアフリー体験授業全体の感想（自由記入）※一部抜粋

- ・ 「おてつだいしましょうか」という言葉を大切にして、高齢者の人たちに声をかけたいです。
- ・ 目が見えなくてもだいじょうぶです。わたしたちがいたらたすけてあげるからしんぱいしないでね。

- 車いすに乗ってみたとき、なんだか楽しかったけど、この生活はきっと大変だろうなとも思いました。なので、困っている人を見つけたらやさしく声をかけようと思いました。
- 目の見えない人は白杖を使って上手に歩いているけど、実際やってみるとすごくむずかしかったです。なので点字ブロックの上を歩いたり、自転車をのせるのはやめようと思いました。
- 目の不自由な人や車いすの人を見かけたら、お手伝いしましょうかと声をかけて、お手伝いをしたいです。
- 車いすで、一人で急な下り道や坂道では困っている人がいたら声をかけて僕がお手伝いしたいです。目が見えない人が駅とかで困っていたら助けてあげたいです。
- 目が見えない人や車いすに乗っている人の不便さがわかった。お風呂やトイレをするとき、階段とか坂道は車いすの人にはものすごく大変だと思います。目の見えない人や車いすに乗っている人はすごいなあ、と思うけど、やっぱりそういう人が困らないようにたすけてあげないといけないと思った。
- 大人になってもこの体験を忘れません。
- 目の不自由な人が点字ブロックを利用していることを初めて知った。
- 今日のことを家族にも伝えたいと思いました。
- 私は一回車いすの人を見ました。荷物が落ちたとき拾いたかったけど勇気が出なくて、お母さんが拾ってあげたとき、車いすの人がニコニコしていた。これから私も拾ったり、お手伝いをしたいです。
- 白杖を上げている人がいたら（白杖 SOS）私は絶対に手伝ってあげます。
- 僕もお年寄り、車いすの人、目の不自由な人に声をかけて教えたり、道案内をして助けたいです。手話を覚えて人々を助けたい。
- 車いすの体験で車いすに乗っている人から見ると、人がとても大きく見えました。私たちは数分間だけだったけど、車いすのひとはこんな生活を毎日しているんだなと思いました。
- 目の不自由なひとや、車いすの人は、食事の時や着替えの時が大変なんだと分かった。
- なるべくいろんな人が目の不自由なひとなどの気持ちになってもらいたい。なぜなら点字ブロックの上とかにものを置いていたら困るからです。
- 大事なことを体験できてうれしかった。
- 今日の体験のおかげで障害を持つ人の気持ちがよくわかった。
- 今日まなんだ「お手伝いしましょうか」を色々なところで使っていきたいです。
- 目の不自由な人はご飯を食べるとき、12時の方にてんぷらがありますよ、9時の方にみそしるがありますよと伝えるのを初めて知った。
- アイマスクをして歩くのは怖かったけど、相手がいたから安心できた。
- バリアフリーという言葉が「バリアをなくす」という意味だとわかった。
- 車いすで段を上がる時①キャスターを上げる②キャスターを段にのせる③後輪をゆっくり押し上げるといのが分かりやすかった。
- 車いすの人は階段しかなかったら4人がかりで持ち上げているということが分かった。
- 私は車いすの人が階段で止まっているとき「どうしよう」と思ったけど声をかけられなかった。だから今日バリアフリー教室があってよかった。